

❀ 西国三十三観音写し霊場順路案内

朝日山真照院の西国三十三観音写し霊場は、大正 14 年（1925 年）に厚東村の岸田昌介夫妻の寄進により建立された。富田村の石匠、中島大吉の手により彫られたものです。



本道左の小道を進みます。



妙見様石段をすぎると 1 番です。



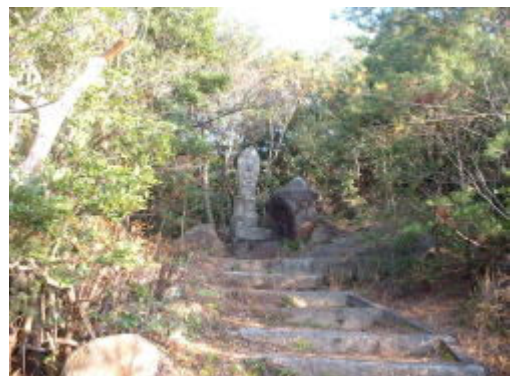
石塔に岸田夫妻の寄進によるものであると記してあります。左が 2 番です。



左奥の石段を下がって行きます。



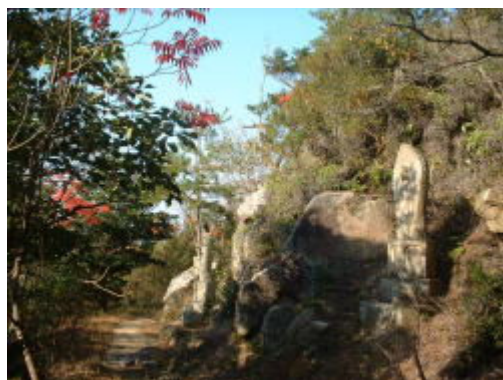
5 番 遠くに秋穂湾が見えます。



6 番 石段を登って行きます。



8 番 山道を進みます。



12 番 13 番 14 番



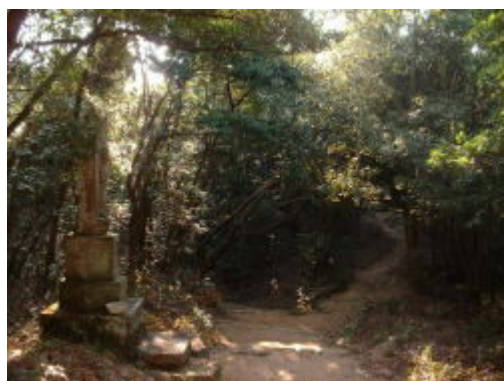
奥の院



16 番 奥の院に向かう石段半ばにあります。



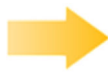
19 番 奥の院左周り奥にあります。
左にあるのが役の行者です。



22 番 奥の院の右手階段を下りていくとあります。左右に道が分かれますが、右の小道を登っていきます。



24 番



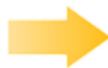
25 番



29 番 大岩の奥にあります。



30 番



31 番 左に曲がると本堂です。



本堂に戻りました



33 番 大師の行者像の右隣です。